



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年11月8日

我孫子市小中一貫教育だより

第345号



我孫子市マスコットキャラクター
「手洗いうなきちさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふるさと だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「わたしの町はっけん」

我孫子第一小学校の2年生で、Abi-ふるさとの一環として生活科の学習がありました。担任から、事前の町探検で調べてきたことをもとに「ぜひ、1年生に町のことを紹介してほしい」とお願いされたことから活動が始まりました。

『我孫子のひみつ発表会』とタイトルが決まり、学習計画を立てました。「いつどこで練習しようか?」「役割分担しないと」など、会に向けて必要なことを出しました。さらに「1年生に招待状を作ってあげよう」や「会場に飾りをつけてあげたい」など、おもてなしの気持ちが表れる意見も出てきました。子ども達を中心に活発に話し合い活動が進んでいきます。計画ができあがると、シナリオ作りです。町探検で調べたことから「1年生が思わず驚く町の秘密」を考えました。「学校の側の自転車屋さんは60年続いている」「学校の側のコンビニで1番売れている商品はトンカツ弁当」など、伝えたいことを熱心にまとめていました。



活動から新たなゴールが生まれ、そこに向かって進んでいくサイクルが見事に表れた授業でした。自分の住んでいる町が大好きになり、またお兄さんお姉さんとして後輩のために頑張りたい気持ちが溢れてくる素敵な授業でした。

Abi-キャリア『働く』とは?』

我孫子第四小学校の6年生で Abi-キャリアの授業が行われました。総合的な学習の時間に「働くとは?」という単元を設定し、9人の講師による職業人講話から学んだことを基に、仕事内容がどのように社会貢献やSDGsとつながっているのかを考えました。

先生から「仕事を通して行われている社会貢献について考えを深めよう!」と学習課題が示され、グループでの学び合いが始まりました。講話の際に記録したワークシートを手に、社会貢献やSDGsの17ある目標のうちどの目標とつながりが深いかについて、自分の考えを一生懸命に説明していきます。聞いている子ども達は、説明に納得をしたり新たな疑問を投げかけたり、疑問点についてタブレット端末を使用して調べたりしながら、全員が目的意識を持ち、積極的に学んでいる姿が印象的でした。



全体共有の場面では、「社会貢献」や「SDGs」という視点で物事をみると、つながりのないように見えた9つの職業にも似ている部分やつながりがあったことに気が付きました。

学習ファイルには、ここまでの積み重ねの足跡が感じられ、総合的な学習の時間を大切に、子ども達の思考力・判断力や主体的に学習に取り組む態度を育てている様子が強く感じられました。この実践を土台に、新たな視点でも小中学校が繋がっていく可能性を感じました。